



コモンズ30 +しずぎんファンド

〈月次報告書〉



● 基準価額の推移



● ファンドのデータ

（2017年6月30日付）

基準価額	11,916円
純資産総額	410百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述の「コモンズ30+しずぎんファンドの費用」をご覧ください）。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%（消費税込）です。

● 基準価額の騰落率

（2017年6月30日付）

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
2.81%	7.92%	8.39%	35.12%	19.16%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド（マザー）	91.1%	▲1.0%
静岡銀行株式	8.4%	0.7%
現金等・その他	0.5%	0.2%

● 分配実績

第1期 （2015年12月18日）	0円	第2期 （2016年12月19日）	0円
----------------------	----	----------------------	----

構成銘柄	31社	0社
------	-----	----

● 運用状況（コモンズ30マザーファンドについての記載となります）

◎6月のファンド月間リターンとその要因

6月のファンドの月間リターンは、2.81%の上昇となりました。

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「旭化成(+13.43%)」、「日揮(+8.78%)」、「コマツ(+8.39%)」となりました。旭化成は、中計（2016～2018年度）で掲げた収益目標が着実に進捗していることや、電池関連事業の収益化などが評価されています。日揮は、6月にモザンビークLNG案件の最終投資決定が出されるなど受注環境が最悪期を脱しつつあることや、原油価格の反転などを好感しました。コマツは、中国での建設機械の稼働状況が上向いてきていることや、原油価格の反転などが注目を集めました。下位3銘柄は、「ディスコ(▲6.18%)」、「ユニ・チャーム(▲5.81%)」、「ヤマトHD(▲5.30%)」となりました。ディスコは、6月上旬までの株価の急上昇で、利益確定売りなどその反動が出たものと思われます。ユニ・チャームは、6月上旬におよそ1年10カ月ぶりの高値を付けたことで、利益確定売りが出たものとみられます。ヤマトHDは、宅配便の大口顧客を主体とする価格交渉で、値上げ効果が出てきますが、一方で、人件費上昇で打ち消され、利益拡大への期待があまり広がっていないようです。なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は10.33%の上昇でした。

◎運用責任者メッセージ

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

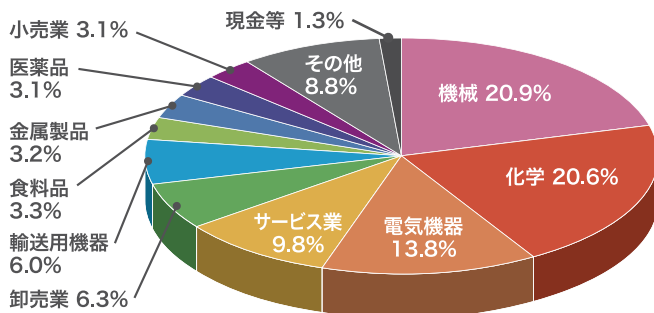
6月の内外金融市場は、米国の金融政策やフランス、英国の選挙などのイベントが注目されました。米国の金融政策では市場の予想通り追加利上げが行われ、また、合わせて公表された「金融政策の正常化」に向けたロードマップは、今後の内外金融市場に影響を及ぼすことになると考えています。一方、米国中央銀行の米国経済・物価に対するやや強気な見立ては、市場参加者の見立てとのギャップを拡大することにもなりました。こうしたギャップが、米国株高・債券高が持続してきた適温相場＝ゴルディロックス相場に、変化の兆しを与えつつあるように感じています。

国内では株主総会の季節となりましたが、建設的な企業との対話が求められる中での議決権行使は、投資家の行動に大きな変化をもたらすはじめています。特に、今年度は、議決権行使の個別開示元年にもなり、ますます、注目が集まることでしょう。当社は、創業以来、長期投資の特性を活かした企業との対話に力を入れてきました。また、議決権行使においても企業価値向上を常に考えた対応をしています。引き続き、どうぞご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

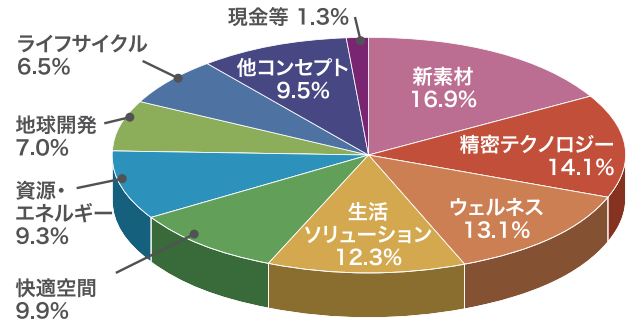
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比

(2017年6月30日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

● 組入上位10銘柄 (静岡銀行株式を除く)

(2017年6月30日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく
6501	日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、世の中を便利にする
6988	日東電工	新素材	柔軟変化し、持続成長が続くグローバルエリアニッチトップ
3407	旭化成	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業転換を続ける伝統企業
6586	マキタ	快適空間	環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる
9783	ベネッセHD	ライフサイクル	「よく生きる」を支援し、世界一の教育企業を目指す

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピックアップ!

コマツは、6月下旬、「IR-DAY」として、大阪工場見学会を開催しました。枚方市駅(京阪本線)から、車で10分ほどのところで、隣には関西外国語大学キャンパスが広がっています。同工場は1952年操業開始で、中型油圧ショベルや大型ブルドーザという主力機種の開発・生産に加え、生産技術の開発、グローバル販生オペレーション、などといった同社の強さの源泉となる機能が集約しています。

「販生」とは、販売と生産を合わせた用語で、先行きの販売動向を的確に見極め、売れるものをつくる、という同社が大切とする考え方です。グローバル販生オペレーションセンターでは、大型モニタ上に、世界各地の同社の工場内の様子や代理店の在庫状況、建設現場で稼働している建設機械の動きが、操作ひとつで映し出され、「見える化」されています。こうした最先端の「ICT(情報通信技術)」と「ものづくり力」を背景にした高い競争力が十分に確認できました。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

● 企業との対話

去る6月23日、コモンズ30ファンド投資先企業「リンナイ株式会社」の瀬戸工場見学と対話セッションが実現しました。瀬戸工場は、国内向け・海外向けの給湯器のメインの生産工場です。リンナイさんにとって個人投資家を招いての工場見学は初めての経験とのことでしたが、松本工場長初め、多くのスタッフの方に温かく迎えていただきました。

給湯器は、同社の売り上げの5割強を占める主力製品です。工場見学は、1)熱交換器・切削という前工程→ 2)塗装・板金・プレス→

3)組立という工程で進みます。想像していた工場は、人はまばら、機械がひたすら動いている、というイメージがありましたが、入ってみると、思った以上に多くの方が働いていらっしゃいました。

一方、部品を運ぶワゴンや台はその位置まで正確に決められ、至る所に注意事項や細かいマニュアルが示され、4Sと呼ばれる「整理、整頓、掃除、清潔」が行き届きいています。また、同社は「品質こそ我らが命」を掲げています。そのこだわりの一つに「内製化」があり、同工場では、生産機械さえも自前のものがありました。こうしたこだわりを通じて「安心・安全」の製品を世に送り出しているのです。

工場見学の後は、松本工場長、小杉専務への質問タイム。見学を踏まえた多くのこだわりについて、参加者から次々と質問が出されました。また、同社の今後の戦略についてもじっくりお話を聞かせていただきました。皆さんは、海外のホテルのシャワーなどで急にお湯が出なくなった経験はありませんか？日本では蛇口をひねると当たり前に出てくる「お湯」が、この給湯器の技術によって支えられているわけですが、アメリカなどの先進国でも、まだまだタンク式なのです。そのため、海外での成長余地が高く、米国を中心に普及を計ることで持続的な成長が期待できるというお話でした。

笑顔でお見送りいただいた工場を後に、名古屋市内に戻り、夜は対話セッションを開催しました。「品質」を支える企業文化について小杉様よりお話しいただき、その後、渋谷、伊井、上野との対話セッションです。とにかく印象的だったのが、「安心・安全」な製品を世に送り出すために「品質」にこだわっていく企業文化です。工場内の改善ひとつも、全員チームで取り組む、そのための組織作りに余念がないのです。何にこだわるかがはっきりしているので、その目的以外のことには目もくれず、地道に続けていく。対話の中で様々なエピソードもご紹介いただきましたが、「リンナイに対して『地味』は誉め言葉です」という小杉様の言葉はとても印象的でした。

参加いただいたお客様からも、こうした対話を通じて「なぜコモンズがリンナイに投資を続けているのかがよく分かった」というお声や、「持続的な成長が期待でき、とてもワクワクしました」という声をいただきました。「見えない価値」を「見える化」することで、よりその価値を共創する場として、今後もコモンズ30塾を開催していきたいと思っています。参加いただいた皆様、ありがとうございました。

マーケティング部 福本 美帆



リンナイ瀬戸工場の様子

● ちょっといい話

【お客さまの最善の利益の追求とは】

本来、どんな事業でもお客さまに対し、より良い商品、より良いサービスの提供に取り組んでいるものです。そうでなければ、商品やサービスを通じて社会への貢献は出来ませんし、そもそも自らの利益を上げることに専念したお客さま不在のビジネスが長続きするはずがありません。

さて、“人間の体に例えると、お金は身体を動かすための血液”と言われるように、金融業は、社会を動かすためにもとても重要な役割があります。一方で、その商品やサービスがモノづくりとは違って機能などが見えにくい特徴も併せ持っています。こうした特徴のある金融業だからこそ、監督官庁として利用者を護る意味も含めて金融庁の役割も重要となるわけです。

先般、その金融庁から「顧客本位の業務運営に関する原則」が発表され、銀行・証券・運用会社などすべての金融事業者が、この原則に対する具体的な取り組みを宣言し、定期的に取り組みを公表していくことが始まりました。

これまで銀行や証券などの販売会社は、適合性の原則として「お客さまの知識、経験、財産力などに適合した形で販売を行わなければならない」との画一されたルールがあり、営業担当者はこれを最低限の基準として行動していました。今回の顧客本位の業務運営原則は、お客さまに対する最善の利益を追求する原則であり、画一的なルールとは違ってその判断はそれぞれの事業者委ねられている点が特徴です。両原則ともにお客さまと真摯に向き合う点は変わりませんが、顧客本位の業務運営原則は、NISA（少額投資非課税制度）やiDeCo（個人型確定拠出年金制度）などの制度の充実のタイミングで、投資家の裾野の拡大を意識して導入されました。

同原則は事業者にとっては、企業文化を反映した商品、サービスをお客さまに届けるきっかけとなっていくことでしょう。

コモンズ投信も「お客さま本位の業務運営」の実現について、を発表しています（下記のリンク先からご覧ください）。この原則にのっとり、販売会社の皆さまとともに、お客さまに対する最善の利益の追求を実践していきたいと考えています。どうぞ、引き続き、ご期待ください。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

○コモンズ投信の「お客さま本位の業務運営」の実現について

<http://www.common30.jp/company/fiduciary.php>

● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。 なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

● お申込みメモ

信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
(株)静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			